

R4 年度長岡京市市民活動応援補助金 採択事業紹介シート(スタートアップ)

③ おにぎり文庫 / まちなか ふれあい 移動文庫事業

団体紹介

令和3年4月に3人のメンバーで立ち上げ、本やおはなしを通して、さまざまなテーマ・形で年齢・性別・属性を超えたすべての人とゆるやかにつながっていきたいという思いで活動しています。

【活動紹介】

○本の広場・おはなし会の開催

市内幼稚園で月1回、地域のコミュニティスペース(長岡京ベース)、商業施設(イズミヤで3回)にて実施。長岡京市文庫連絡会メンバーとして、図書館や勝竜寺城公園、光明寺での読み聞かせイベントや講習会開催にも関わっています。

○オリジナル防災紙芝居『じしんがきたら…』制作、活用

小学校の防災授業に参加。防災教育推進メンバーとして、防災ドリル制作や市内防災イベントに参加。

今回、新たな取り組みとして当事業で『第一回 まちなか移動文庫』を開催しました。

採択事業紹介

『まちなか ふれあい 移動文庫事業』は、普段の暮らしのそばにある“まちなか”の身近な場所にたくさんの本を用意し、乳幼児から高齢者までの全ての方が自由に立ち寄り楽しむことができるスポットを

提供するというものです。第1回目の開催を11月6日(日)西代里山公園の屋外イベント広場としました。

「地域社会におけるつながりの希薄化」「幅広い世代・多様な価値観を持つ人との交流機会の減少」「図書館から遠い地域に住むなど、本に出会う機会を得にくい市民がいること」を地域課題と捉え、それに対して「手に取りやすいよう機会ごとに選書した本をツールとして、人と人、人とまちをより心地よくつなぐ場を創ること」「より身近で気軽に楽しむことができる、本との出会いの場を創ること」を目標として取り組みました。

開催した結果や今後の予定など

【事業報告】

“本が好きな人もそうでない人も、色々な年代の方がふらっと気軽に立ち寄ることができる場所”をイメージし、参加しやすく居心地の良い空間づくり(芝ロール・キャリアー・タープ・面展台・本箱・机・椅子などの調達、空間デザインなど)、本の準備(手に取りやすいよう幅広く選書、ブッカーかけなど)、つながりを生むための仕掛けづくり(本の配架、本につけるコメント付箋、読み聞かせや工作コーナーの設置など)、チラシやSNSを用いた広報活動に取り組みました。

2回の延期を経て、12月3日(土)10~15時、西代里山公園屋外

イベント広場にて『第一回 まちなか移動文庫』を開催。青空の下、約50平米のスペースに約300冊の本を用意し、公園利用者が誰でも自由に本を手にとって楽しみ、くつろぎ、交流することができる空間をつくりました。工作コーナー（紙コップけん玉）や、のうさぎ文庫による読み聞かせ会（13～13時半）を行いました。

乳幼児～60歳以上の計74名（大人35名、子ども39名。スタッフ、関係者含まず）・28世帯の方が来場してくださり、親子連れを中心に、大人だけや子どもだけの参加もありました。

2回延期したこともあり、チラシや口コミよりも、たまたま公園に遊びにきて当イベントを知った、通りがかりでの参加者が多かったです。

思い思いの場所に腰を下ろし、家族や友人と本を読み合ったり、一人でじっくり読んだり、たくさんの本に手をのばして長時間ゆったり楽しんでくださる方が多く、参加者アンケートでの満足度評価（5段階）は全て5の「大変良い」でした。（回収率82%）

コメント欄では、「大人子ども関係なくゆったり本に触れる機会があるのは嬉しい。」「大人も子どもも楽しめる選書。」「自由に過ごせるのが良かった。」「いつも読まない本を手に取り、世界が広がった気がする。」「子連れて図書館は難しいこともある。青空の下は心地よく最高。」「ほのぼのとした雰囲気がか心地よい。あたたかい雰囲気に元気をもらった。」などの声が得られました。

【事業成果】

屋外スペースでの開催により、図書館を利用することが難しい方

や、普段あまり本に触れる機会のない方にも、ゆったりと本に親しんでもらうことができました。

様々なテーマ・感性・表現を扱い、誰もが広く手に取ることができる「本」というツールを通して、初めて知る世界・新しい価値観との出会いのきっかけを提供しました。

また、“本のある空間”の共有を通して、幅広い層のゆるやかなつながりを持つことができました。

【実際に事業を行ってみて…】

手探りででの取り組みでしたが、概ね理想としていたイメージに近い形を実現することができました。当事業の企画準備・開催を通して、たくさんの温かなつながりを得たことをとてもありがたく幸せに感じています。

【大変だったこと】

不特定多数の方を対象とした、コロナ禍の屋外図書イベントであったため、感染状況への配慮や天候に伴う開催判断がとても難しかったです。実際、関係者の体調不良・天候不順による延期が2回あり、延期決定に伴う情報周知がとても大変でした。今後は、公式 LINE だけでなく、最新の情報をチェックしてもらうことができる Instagram などの活用を取り入れることも考えています。

新型コロナウイルス感染症対策としては、ゆとりのある屋外オープンスペースでの開催に加え、受付カードの記入、手指消毒を行いました。

【今後の見通し】

今回開催した場所は、子どもを連れて家族で遊びに来られている方が多く、開催場所の立地や特性により、訪れる層に少なからず偏りが生じることを実感しました。今後の活動継続に際し、更にいろいろな層の方々とのつながりを持つことができるよう、少しコンパクトな形で、まちの様々な場所（地域のコミュニティスペース、自治会館、公園、寺社、店頭、各種イベント会場など）での開催にチャレンジしてみたいと考えています。

また、機会に合わせた多様なニーズに応え、より幅広く質の良い選書ができるよう、市図書館との更なる連携を探っていきたいと考えています。